

野生動物との関わり

日本に農耕が始まって以来、日本人は人は野生動物と深く関わりをもつて暮らしてきました。

その接点は主に農業生産活動にあつたと思いま

す。農耕と野生動物との日々の関わりが、「猪垣」などが現代に残されてい

るよう、生活様式や文化にまで影響を及ぼして

きました。近代になり農民以外の一般民衆が、野生動物に日常的に関心を持つようになつたのは、江戸時代末期庶民が癒しを求めて野鳥を飼う、空前の野鳥ブームが原因の一つに揚げられます。

これは野鳥を捕らえ飼育し繁殖成績や鳴き声を競わす風習で、一般庶民の間にもてはやされ明治・大正・昭和初期まで続き飼鳥は伝統文化の一種にまでなつてきました。

昭和9(1934)年 中西悟堂が日本野鳥の会を創立し、「籠の鳥を解放し野鳥の観察と研究は野外で」をスローガンに一般の関心が野鳥に向けられ飼鳥は法により規制され下火になつて行きま

した。 戦争のため日本野鳥の会も廃れ、戦後、公害と自然保護の波にのり1970年代、再び野鳥ブーム再燃し現在に至つています。

日本で自然保護活動が活発化したのは1960年(1970年)です。これまで自然動物との関わりはなおざりにされていたが、ジョイ・アダムソンの「野生のエルザ」

冬が来る前に!

モンキードッグに取り組んで

名張市会議員

常俊 朋子 氏

私が、モンキードッグに愛犬を登録したのは、団地内にニホンザルが出没することで、「子ども達が危険な目に合う」という怖さからです。名張市が、宇陀市との広域鳥獣害対策の一環として打ち出したモンキードッグ養成講座で、愛犬家の皆さんとお知り合いになり、赤目や室生、三本松などでのニホンザル以外の鹿や猪、外来獣の被害を改めて認識することになりました。

ご高齢の方の楽しみである野菜作りや、農

作物で生計を立てていらっしゃる方々の被害を知り、「この仕組みをもっと有効に」という皆さんのアイディアに賛同いたしました。

野良犬から立派なモンキードッグになった子もあり、犬たちへの愛情が人間の役立つ「使役犬」へと変わることも実感いたしました。

鳥獣害の対策にはいろんな形での取り組みが必要かと思うところであり、犬たちのレベルアップの必要性を感じております。

今後も地道な活動ではありますが、広域・世代間交流・男女共同参画など様々なテーマにもかかわっており、有意義な活動として広がっていくことを願っております。

動物の視点から見た自然の価値観は、本来は動物である人間が生存するためにも不可欠のものでなければなりません。

離れザルについて

離れザルは基本的には1、2匹で、通常は本隊とはあまり離れずに移動しています。3~4匹の群れは数が少なくて離れではありません。本隊の先遣隊か、しんがりを務めるサルたちです。近くには必ず本隊の大きな群れがいると思って間違ひありません。一匹の離れでも本隊を誘導してくることもありますので、少數だと思い油断しないでください。

野生動物育成林整備

兵庫県では野生動物に防護柵設置などの被害管理に加え、人と野生動物が棲み分けのできる森づくりが求められています。

今後は、個体数管理による被害が深刻な地域の森林を対象に、バッファーゾーン(見通しの良い地域)の整備や、生息地となる広葉樹林の整備、公

益的機能が低下した広葉樹林の再生を行い、人と野生動物が棲み分けできる森の育成に取り組んでいます。

これまで段階で「ウーマ

ンライフ」や「ユウ」

の「只今、里親募集

中」という状態です。

がこんなに苦労して里親を探さなければならぬのでしょうか! 何故、親猫の飼い主は、

い。特に外来種は:

「何をやつてもあかん!」

と、あきらめて

いませんか?

本格的な冬

を前に、周囲を再点検し

ましよう。

日本で自然保護活動が

活発化したのは1960年(1970年)です。

これまで自然動物との

関わりはなおざりにされ

ていたが、ジョイ・アダ

ムソンの「野生のエルザ」

がこの

日本

で

始まつ

た。

その接点は主に農業生

産活動にあつたと思いま

す。

農耕と野生動物との

日々の関わりが、

「猪垣」

など

が現

れ

て

い

ま

せ

ん

で

き

ま

し

ま

う

と

い

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う</p